

その論文、
もっと身近に、もっと簡単に。

1本の論文を仕上げるまでにかかるコスト

～ 大阪大学のサービスで、あなたの研究をサポートします！ ～

前提 阪大太郎さん（大阪大学の院生）



TAやRA、アルバイトでなんとか生活をしのいでいる。

将来、研究者になるためにも、有名誌への論文投稿を目指したい。

1 データベースの使い方を知る



研究のためにデータベースを使いたいけど、使い方がわからない・・・

図書館のレファレンスサービスで使い方がわかった！

2 論文を入手する（学内）



阪大で契約している電子ジャーナルのおかげで論文が読めた！

3 論文を入手する（学外）



学内で入手できない論文がある・・・

図書館の「文献複写／現物貸借サービス」で入手できた！

4 研究データを管理する



研究データ管理計画（DMP）を作らないといけない・・・

阪大のポータルサイトでしっかりと理解できた！

5 英文校正をする



英語論文を投稿する必要があるけど、英文校正サービスは高い・・・

阪大の支援事業で割安に依頼できた！

学内限定

6-1 論文を投稿する



OA出版の投稿料（APC）が高かったけど・・・

これも阪大の支援事業のおかげで割安でOAにできた！

学内限定

6-2 非OA論文も公開する



OA出版できなかった論文もみんなに読んで欲しい・・・

阪大の機関リポジトリOUKAで著者最終稿を公開できた！

こうして論文を無事に、投稿・掲載することができました！

各サービスの
詳細はこちら



1

データベース



2

電子
ジャーナル



3

文献複写／
現物貸借



4

研究データ
管理



5

英文校正



6-1

APC支援



6-2

機関リポジトリ
OUKA